

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和7年3月10日(2025.3.10)

【公開番号】特開2024-126601(P2024-126601A)

【公開日】令和6年9月20日(2024.9.20)

【年通号数】公開公報(特許)2024-177

【出願番号】特願2023-35088(P2023-35088)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 6 A

【手続補正書】

【提出日】令和7年2月28日(2025.2.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

或る始動入賞手段と、

前記或る始動入賞手段への遊技球の入球があった場合に或る図柄変動表示を実行可能な或る図柄表示手段と、

大当り遊技において可動部材が動作することで遊技球が進入容易な状態に変化可能な或る可変入賞手段と、

第一の遊技領域と、

前記第一の遊技領域とは異なる遊技領域である第二の遊技領域と、

を備えた遊技台であって、

前記或る始動入賞手段は、前記第二の遊技領域に配置される入賞手段であり、

前記或る可変入賞手段は、前記第二の遊技領域に配置される入賞手段であり、

前記或る可変入賞手段に進入しなかった遊技球が流下可能な遊技球通路を備え、

前記或る始動入賞手段は、前記遊技球通路を流下した遊技球が進入可能となる位置に配置される入賞手段であり、

前記遊技球通路は、該遊技球通路を流下する遊技球が衝突し得る第一の突部が設けられた通路である、

ことを特徴とする遊技台。

30

【請求項2】

請求項1に記載の遊技台であって、

前記遊技球通路は、遊技球が2球以上並列で流下できない通路幅とされている通路である、

ことを特徴とする遊技台。

40

【請求項3】

請求項1に記載の遊技台であって、

前記遊技球通路は、前記或る可変入賞手段に進入せずに受け入れた遊技球を前記或る始動入賞手段の他の入賞手段に入賞させることがない通路である、

ことを特徴とする遊技台。

【請求項4】

請求項1乃至3のうちいずれか一項に記載の遊技台であって、

50

前記遊技球通路は、一部が下方に向けて蛇行した構造とされている蛇行部を有する通路であり、

前記蛇行部は、該蛇行部を流下する遊技球を流路に沿って誘導するための第二の突部が設けられたものである、

ことを特徴とする遊技台。

【請求項 5】

請求項 1 乃至 3 のうちいずれか一項に記載の遊技台であって、

発射操作に基づいて遊技球を発射可能な発射手段を備え、

前記或る始動入賞手段に遊技球が入球すると、遊技球 1 球分の遊技価値を付与し、

前記或る可変入賞手段における前記可動部材に接触している遊技球が前記或る始動入賞手段に進入する或る場合、該或る可変入賞手段における該可動部材に接触している遊技球が該或る始動入賞手段に進入するまでにかかる時間が、前記発射操作を継続的に行うことで前記発射手段が遊技球を 1 球発射してから次の 1 球を発射するまでの時間以上かかる、ことを特徴とする遊技台。

10

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

20

上記目的を解決する本発明の遊技台は、

或る始動入賞手段と、

前記或る始動入賞手段への遊技球の入球があった場合に或る図柄変動表示を実行可能な或る図柄表示手段と、

大当り遊技において可動部材が動作することで遊技球が進入容易な状態に変化可能な或る可変入賞手段と、

第一の遊技領域と、

前記第一の遊技領域とは異なる遊技領域である第二の遊技領域と、

を備えた遊技台であって、

前記或る始動入賞手段は、前記第二の遊技領域に配置される入賞手段であり、

30

前記或る可変入賞手段は、前記第二の遊技領域に配置される入賞手段であり、

前記或る可変入賞手段に進入しなかった遊技球が流下可能な遊技球通路を備え、

前記或る始動入賞手段は、前記遊技球通路を流下した遊技球が進入可能となる位置に配置される入賞手段であり、

前記遊技球通路は、該遊技球通路を流下する遊技球が衝突し得る第一の突部が設けられた通路である、

ことを特徴とする遊技台。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】1 0 3 2

40

【補正方法】変更

【補正の内容】

【1 0 3 2】

また、以上の記載では、

『 或る始動入賞手段 [ 例えば、特図 2 始動口 2 3 2 等 ] と、

前記或る始動入賞手段への遊技球の入球があった場合に或る図柄変動表示を実行可能な或る図柄表示手段 [ 例えば、特図 2 表示装置 2 1 4 等 ] と、

大当り遊技において開閉可能な或る可変入賞手段 [ 例えば、第 2 可変入賞口 2 3 5 等 ] と、

第一の遊技領域 [ 例えば、左側の遊技領域等 ] と、

50

前記第一の遊技領域とは異なる遊技領域である第二の遊技領域と〔例えば、右側の遊技領域等〕と、

を備えた遊技台であって、

前記或る始動入賞手段は、前記第二の遊技領域に配置される入賞手段であり、

前記或る可変入賞手段は、前記第二の遊技領域に配置される入賞手段であり、

前記或る可変入賞手段に進入しなかった遊技球が流下可能な遊技球通路〔例えば、球通路 2 3 9 等〕を備え、

前記遊技球通路は、該遊技球通路を流下する遊技球に衝突させて該遊技球の流下速度を低下させるための第一の突部〔例えば、リブ 2 3 f 1 ~ 2 3 f 3 , リブ 2 3 r 1 ~ 2 3 r 3 等〕が設けられた通路である、

ことを特徴とする遊技台。』

について説明した。

さらに、以上の記載では、

『 或る始動入賞手段〔例えば、特図 2 始動口 2 3 2 等〕と、

前記或る始動入賞手段への遊技球の入球があった場合に或る図柄変動表示を実行可能な或る図柄表示手段〔例えば、特図 2 表示装置 2 1 4 等〕と、

大当り遊技において可動部材〔例えば、シャッタ部材 2 3 5 1 〕が動作することで遊技球が進入容易な状態〔例えば、後方側に退出した状態〕に変化可能な或る可変入賞手段〔例えば、第 2 可変入賞口 2 3 5 等〕と、

第一の遊技領域〔例えば、左側の遊技領域等〕と、

前記第一の遊技領域とは異なる遊技領域である第二の遊技領域と〔例えば、右側の遊技領域等〕と、

を備えた遊技台であって、

前記或る始動入賞手段は、前記第二の遊技領域に配置される入賞手段であり、

前記或る可変入賞手段は、前記第二の遊技領域に配置される入賞手段であり、

前記或る可変入賞手段に進入しなかった遊技球が流下可能な遊技球通路〔例えば、球通路 2 3 9 等〕を備え、

前記或る始動入賞手段は、前記遊技球通路を流下した遊技球が進入可能となる位置に配置される入賞手段であり、

前記遊技球通路は、該遊技球通路を流下する遊技球が衝突し得る第一の突部〔例えば、リブ 2 3 f 1 ~ 2 3 f 3 , リブ 2 3 r 1 ~ 2 3 r 3 等〕が設けられた通路である、

ことを特徴とする遊技台。』

についても説明した。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】1 0 4 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【1 0 4 4】

また、『 前記蛇行部を流下する遊技球を流路に沿って誘導するための第二の突部〔例えば、リブ 2 3 f 4 等〕が該蛇行部に設けられている、

ことを特徴とする遊技台。』

についても説明した。

なお、『 前記遊技球通路は、一部が下方に向けて蛇行した構造とされている蛇行部〔例えば、第 2 可変入賞口 2 3 5 から特図 2 始動口 2 3 2 にかけて配置される S 字構造等〕を有する通路であり、

前記蛇行部は、該蛇行部を流下する遊技球を流路に沿って誘導するための第二の突部〔例えば、リブ 2 3 f 4 等〕が設けられたものである、

ことを特徴とする遊技台。』

であってもよい。

10

20

30

40

50

さらに、『発射操作に基づいて遊技球を発射可能な発射手段〔例えば、球発射ハンドル 1 3 4〕を備え、  
前記或る始動入賞手段に遊技球が入球すると、遊技球 1 球分の遊技価値を付与し、  
前記或る可変入賞手段における前記可動部材〔例えば、シャッタ部材 2 3 5 1〕に接触  
している遊技球が前記或る始動入賞手段に進入する或る場合、該或る可変入賞手段にお  
ける該可動部材に接触している遊技球が該或る始動入賞手段に進入するまでにかかる時間  
が、前記発射操作を継続的に行うことで前記発射手段が遊技球を 1 球発射してから次の 1 球  
を発射するまでの時間〔例えば、遊技球を 2 発射可能な時間〕以上かかる、  
ことを特徴とする遊技台。』  
についても説明した。

10

20

30

40

50